

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月3日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 2814 URL <http://www.sato-foods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 宗行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 上田 正博

TEL 0568-77-7316

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,908	△1.6	789	△13.7	938	△7.3	361	△40.4
23年3月期第3四半期	4,988	△2.0	914	7.4	1,013	14.1	606	12.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	39.22	—
23年3月期第3四半期	65.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,530	16,207	92.5
23年3月期	17,569	16,723	95.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,207百万円 23年3月期 16,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	0.2	910	△17.7	1,063	△11.8	677	△67.4	79.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,326,460 株	23年3月期	9,326,460 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	497,055 株	23年3月期	55 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,217,849 株	23年3月期3Q	9,326,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から一部に回復傾向が見られるものの、欧州金融危機や歴史的な円高・株安の進行により国内景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社の当第3四半期累計期間における売上実績は、茶エキスのつきましては、紅茶エキスが増加したものの、緑茶エキス・ほうじ茶エキス等が減少したため、売上高は2,533百万円(対前年同四半期比2.1%減)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末ソース・粉末鰹節・粉末昆布・粉末椎茸等の主要製品が減少したため、売上高は1,323百万円(同4.7%減)となりました。

液体天然調味料につきましては、白醤油が減少したものの、鰹節エキス・昆布エキス・椎茸エキスが増加したため、売上高は579百万円(同3.5%増)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が増加したものの、野菜エキスが減少したため、売上高は417百万円(同1.4%増)となりました。

粉末酒につきましては、ラムタイプ等が増加したため、売上高は45百万円(同23.5%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,908百万円(同1.6%減)となり、前年同四半期より79百万円減少しました。

損益面につきましては、減価償却費及び燃料費等の増加により製造原価が上昇したものの、一般管理費の減少により営業利益は789百万円(同13.7%減)となり、貸倒引当金戻入額の計上により経常利益は938百万円(同7.3%減)となりました。また、投資有価証券評価損及び税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額が増加したため、四半期純利益は361百万円(同40.4%減)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は17,530百万円となり、前事業年度末に比べ38百万円減少しました。流動資産については8,423百万円となり、前事業年度末に比べ181百万円増加しました。主に、未収還付法人税等が240百万円減少し、当第3四半期会計期間末が金融機関の休日であったため売上債権が370百万円増加し、また棚卸資産や現金及び預金がそれぞれ89百万円、10百万円増加したことによります。固定資産については、9,107百万円となり、前事業年度末に比べ220百万円減少しました。主に、投資有価証券が263百万円増加し、有形固定資産及び繰延税金資産がそれぞれ、279百万円、206百万円減少したことによります。

(負債)

負債合計は、1,322百万円となり、前事業年度末に比べ477百万円増加しました。流動負債については1,253百万円となり、前事業年度末に比べ473百万円増加しました。主に、未払法人税等が310百万円増加し、また当第3四半期会計期間末が金融機関の休日であったため仕入債務が159百万円増加したことによります。固定負債については、69百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円増加しました。主に、役員退職慰労引当金が4百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産合計は、16,207百万円となり、前事業年度末に比べ516百万円減少しました。主に、四半期純利益361百万円の計上により増加したものの、自己株式の取得による支出及び配当金の支出によりそれぞれ616百万円、279百万円減少したことによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月4日に公表いたしました「平成24年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想に変更はありません。なお、自己株式の取得により1株当たり当期純利益が72円67銭から79円96銭に変更になっております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(2) 追加情報

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以降開始する事業年度より法人税率及び繰越欠損金の控除限度額が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年3月31日まで 40.6%

平成24年4月1日から平成27年3月31日 37.9%

平成27年4月1日以降 35.5%

この変更により繰延税金資産の純額が206百万円減少し、当第3四半期累計期間に費用計上された法人税等の金額が195百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,354,566	5,365,440
受取手形及び売掛金	1,208,087	1,578,872
製品	468,100	516,996
仕掛品	334,595	372,556
原材料及び貯蔵品	199,998	202,334
その他	676,458	387,450
貸倒引当金	△240	△310
流動資産合計	8,241,567	8,423,341
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	2,654,330	2,534,270
機械及び装置 (純額)	2,570,087	2,502,752
土地	2,468,073	2,468,073
建設仮勘定	110,380	38,533
その他 (純額)	188,496	167,749
有形固定資産合計	7,991,369	7,711,379
無形固定資産	42,401	37,254
投資その他の資産		
投資有価証券	442,638	706,445
破産更生債権等	5,559,250	5,448,618
繰延税金資産	747,749	541,624
その他	103,294	110,392
貸倒引当金	△5,559,250	△5,448,618
投資その他の資産合計	1,293,682	1,358,462
固定資産合計	9,327,453	9,107,097
資産合計	17,569,021	17,530,438
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	370,475	530,232
未払金	106,061	102,794
未払法人税等	13,222	323,865
賞与引当金	115,000	56,196
設備関係支払手形	70,604	—
その他	105,266	240,579
流動負債合計	780,629	1,253,668
固定負債		
役員退職慰労引当金	10,160	14,388
資産除去債務	54,434	54,660
固定負債合計	64,594	69,048
負債合計	845,224	1,322,716

（単位：千円）

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,444,796	4,444,796
利益剰余金	8,605,191	8,686,881
自己株式	△67	△616,829
株主資本合計	16,722,194	16,187,123
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,601	20,598
評価・換算差額等合計	1,601	20,598
純資産合計	16,723,796	16,207,721
負債純資産合計	17,569,021	17,530,438

(2) 四半期損益計算書
第 3 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,988,102	4,908,339
売上原価	3,495,760	3,562,375
売上総利益	1,492,342	1,345,963
販売費及び一般管理費	577,786	556,817
営業利益	914,556	789,145
営業外収益		
受取利息	951	529
受取配当金	11,452	9,592
助成金収入	73,241	7,424
貸倒引当金戻入額	—	110,561
その他	12,880	21,615
営業外収益合計	98,524	149,722
営業外費用		
自己株式取得費用	—	248
その他	10	0
営業外費用合計	10	249
経常利益	1,013,070	938,619
特別利益		
固定資産売却益	—	1,036
投資有価証券売却益	25,301	—
貸倒引当金戻入額	31,398	—
特別利益合計	56,699	1,036
特別損失		
固定資産売却損	—	98
固定資産除却損	1,600	1,401
投資有価証券評価損	8,550	69,872
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54,135	—
その他	—	0
特別損失合計	64,285	71,372
税引前四半期純利益	1,005,484	868,282
法人税等	399,277	506,800
四半期純利益	606,207	361,482

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報等の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年10月21日および平成23年12月16日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、大阪証券取引所のJ-NET市場における買付けにより普通株式497,000株を取得いたしました。この結果、当第3四半期会計期間末において、自己株式が616,762千円増加しております。

(6) 重要な後発事象

自己株式の取得について

平成24年1月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、下記のとおり取得いたしました。

①自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。

②取得対象株式の種類

当社普通株式

③取得した株式の総数

2,579,380株(発行済普通株式総数に対する割合27.66%)

④株式の取得金額の総額

2,808,944,820円

⑤取得日

平成24年1月12日

⑥自己株式取得の方法

大阪証券取引所の「J-NET市場における自己株式取得取引」における買付け

上記の自己株式の取得により、当社の主要株主であり、かつ、「その他の関係会社」である日産アセット株式会社は当社の「その他の関係会社」に該当しないことになりました。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	2,542,146	△3.0
粉末天然調味料	1,378,722	3.2
液体天然調味料	582,481	3.9
植物エキス	461,140	10.4
粉末酒	47,971	37.0
合計	5,012,462	0.8

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	2,533,938	△2.1
粉末天然調味料	1,323,174	△4.7
液体天然調味料	579,370	3.5
植物エキス	417,403	1.4
粉末酒	45,833	23.5
その他	8,617	149.8
合計	4,908,339	△1.6

(注) 1. 輸出は僅かのため、記載を省略しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
ミヤコ化学(株)	504,636	10.1

なお、当第3四半期累計期間において、販売実績の総販売実績に対する割合が100分の10以上である相手先はありません。